

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」 「ことラー」を募集！こと！こと？フォーラムや公開講座も開催します

川崎市では昨年度から、誰もが身近に文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向けた取組の一環として、東京藝術大学（東京都台東区）と連携し、川崎のまちをフィールドとして文化芸術資源を介して、そこに生まれる“こと”をつなぎ、人と人や人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクト「こと！こと？かわさき」に取り組んでいます。このプロジェクトの主体となる、アート（文化芸術）を介して、対話をしながら人・モノ・こと・場所等をつないでいくアートコミュニケーター「ことラー」の2026(令和8)年度から活動する方々を募集します。また、この「ことラー」募集に際し、「こと！こと？フォーラム」及びオープンレクチャー（公開講座）を開催いたします。

1 アートコミュニケーター「ことラー」の募集

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」の主体となるアートコミュニケーター「ことラー」を募集いたします。「ことラー」は、対話をしながら市内の文化資源をいかして、人・モノ・こと・場所等をつないでいく人々です。

【募集人数】

30名（御応募いただきました方々から、書類選考及び面接を行います。）

【参加の条件】

- ・ 18歳以上（2026(令和8)年4月1日現在）
- ・ 「アート（文化芸術）」や「コミュニティ」に関心がある
- ・ 川崎市内で活動する意欲があり、積極的に学び、「こと！こと？かわさき」の趣旨に共感して活動できる人
- ・ 活動の拠点となる『ことルーム※』や市内の施設等での講座や活動に参加できること

※『ことルーム』：多摩区登戸 2092-8 第8井出ビル6階（小田急線向ヶ丘遊園駅北口徒歩1分）

「ことラー」の活動は最長3年間。登録期間は1年間で、次年度以降は本人とプロジェクトチーム双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間となります。

詳しい参加条件や応募要項等については、こと！こと？かわさき Web サイトで御確認ください。

⇒ こと！こと？かわさき Web サイト URL <https://kotokoto-kawasaki.com>

※ 応募受付期間：2025(令和7)年12月21日(日)～2026(令和8)年2月3日(火)(消印有効)



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

2 「こと！こと？フォーラム」の開催

2024(令和6)年4月からスタートした「こと！こと？かわさき」は、今年で2年目。現在70名のアートコミュニケーター「ことラー」が今年度も、文化的な活動を通して人々が関わり合いを持ち、誰もが自分なりの居方を見出せるような活動に取り組んできました。

フォーラムの第1部では、これまでにアトレ取手で「たいけん美じゅつ場 VIVA」※の運営に携わり、まちに根ざし、つながりのある館づくりを目指すアトレ川崎の武田文慶さんと、病気があってもなくても安心して暮らせるまちを目指す暮らしの保健室の西智弘さんをお迎えし、アートコミュニケーター「ことラー」の活動を振り返りながら、困ったり不安な時に話を聞いてもらえる日常のつながりをどのように育んでいけるのか、それぞれの実践からの視点を交えて共に考えます。

第2部では、各活動について、ことラーから直接話を聞くことができる交流の場を設けます。

また、ことラーと一緒に川崎市役所本庁舎をめぐる「ことラーの見どころ体験ツアー」も開催予定しています。

※ たいけん美じゅつ場 VIVA…2019年12月にアトレ取手（茨城県取手市）4階にオープンし、アートを介してまちに新しいコミュニティを形成することを目的とした約685坪の広大な文化交流施設。

《開催概要》



・開催日時：2025(令和 7)年 12 月 21 日（日）

第 1 部 13 時 00 分から 15 時 30 分まで（受付開始 12 時 30 分から）

第 2 部 15 時 45 分から 17 時まで

・開催場所：川崎市役所本庁舎（川崎市川崎区宮本町 1 番地）

・参加料：無料

《第 1 部》13:00～15:30

・会場：川崎市役所本庁舎 2 階ホール

・定員：180 名（要事前申込、先着順）※手話通訳、文字表示支援あり。

・内容：トークセッション 1「まち×ひと×アートコミュニケーター＝〇〇」

・アートコミュニケーター（ことラー） 数名

・西 智弘（一般社団法人プラスケア代表理事／川崎市立井田病院腫瘍内科部長）

・近藤 乃梨子（東京藝術大学特任研究員／こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー）

トークセッション 2「独りぼっちにならない社会の作り方」

・武田 文慶（アトレ川崎 副店長）

・西 智弘（一般社団法人プラスケア代表理事／川崎市立井田病院腫瘍内科部長）

・近藤 乃梨子（東京藝術大学特任研究員／こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー）

・玉置 真（東京藝術大学特任研究員／こと！こと？かわさき プロジェクトマネージャー）



《第 2 部》：15:45～17:00

・会場：川崎市役所本庁舎復元棟 2 階 201 会議室

・内容：ことラーによるオープンセッション

ことラーが日頃の活動を紹介します。時間内はご自由に入退室できます。

・ことラー紹介

・ことラーによる見どころ体験ツアー@市本庁舎

15:45～16:30（定員 15 名／要事前申込・先着順）

・参加申込方法：第 1 部と、第 2 部の「ことラーによる見どころ体験ツアー」への参加については、申込フォームから

お申し込みください。⇒ こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームから

URL <https://kotokoto-kawasaki.com>

・主催：川崎市、東京藝術大学／共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

・企画運営：こと！こと？かわさき



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

3 オープンレクチャー（公開講座）の開催

ゲストに、医学書院の〈ケアをひらく〉シリーズを手がけ、2025 年 4 月に『ケアと編集』を上梓した白石正明さん^{しらしいし まさあき}をお迎えします。編集者としての白石さんの視点とことラーの日頃の活動を掛け合わせながら、アートコミュニケーションとケアの関係を掘り下げていきます。ことラーの講座に関心のある方やことラー応募を検討中の方はぜひご参加ください。

《開催概要》

こと！こと？かわさき オープンレクチャー

- ・開催日時：2026(令和 8)年 1 月 25 日（日）13 時から 15 時 30 分まで（受付開始 12 時 30 分から）
- ・開催場所：川崎市役所本庁舎 2 階ホール（川崎市川崎区宮本町 1 番地）
- ・定 員：180 名（要事前申込、先着順）※手話通訳(希望がある場合)、文字表示支援あり。
- ・参 加 料：無料
- ・内 容：講師：白石 正明^{しらしいし まさあき}（編集者 著書『ケアと編集』、『ケアをひらく』シリーズの編集ほか）
- ・参加申込方法：申込フォームから申込み。⇒ こと！こと？かわさき Web サイト内、申込フォームから
URL <https://kotokoto-kawasaki.com>
申込受付期間：12 月 15 日（月）10:00 開始



こと！こと？かわさき
Web サイト二次元バーコード

- ・主催：川崎市、東京藝術大学／共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点
- ・企画運営：こと！こと？かわさき

問合せ先

川崎市市民文化局市民文化振興室 山本
電話 044-200-2122

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」とは？

アートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」は、川崎のまちをフィールドとして文化芸術を介して、そこに生まれる“こと”と“こと”をつなぎ、人と人や人と場所がつながりあえる「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

様々な背景や興味関心を持つ人たちが集まり、講座やワークショップを経て、活動に必要な考え方を共有し、市内の文化芸術資源を用いて、気づき(！)や問い(?)を重ねて、新たなコミュニケーションを創出し、市内の文化資源をより身近に感じられる、多彩な活動につなげていきます。緩やかにつながりあう活動やネットワークが広がることにより、多様な市民と社会をつなぎ、文化施設のみならず、医療施設や福祉施設等とも連携し、「対話のある社会」、「多様性が尊重される社会」、「孤立しない社会」など心豊かなウェルビーイングなまちの実現を目指します。

令和7年度には第2期32名を加え、現在総勢70名で活動を行っています。

※ 川崎市は「アート・フォー・オール」実現に向け東京藝術大学を中核とした「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」に参画・協働しています。



《プログラムの内容》

1 基礎講座（4月から6月隔週開催 全6回）

アートコミュニケータ「ことラー」として必要な、対話力やコミュニケーションの良い取り方などを、講座を通して学び、スタッフと共に基本的な考え方を共有していきます。

- ・オリエンテーション、鑑賞体験、「きく力」講座、グッドミーティング講座 ほか



基礎講座の様子

2 実践講座（7月以降、複数のコースから1コース以上受講、各コース6回(月2回)程度）

作品鑑賞やフィールドワーク、グループ活動など市内の様々な施設等と協働して行い、伴走スタッフ共に実践的な活動を通して、対話や新たな価値を見出す力を養う活動を行います。



フィールドワークの様子

3 実践プログラム（年数回）

市内の文化施設や団体と連携して、学んだことを実践として活かしていくプログラムを行います。

《2025 年度実践例》

- ・ウキウキみるみるアートクルーズ（川崎市浮世絵ギャラリー、川崎市岡本太郎美術館）
- ・ことラーの見どころ体験ツアー@市庁舎（川崎市役所本庁舎）



アートクルーズの様子

4 ことラー全員で取り組むプログラム（随時）

市内の文化施設や地域と連携したプログラムを行います。

《2025 年度実践例》

- ・川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキュー参加プログラム
- ・社会的処方 EXPO ワークショップ など



見どころ体験ツアーの様子



収蔵品レスキューの様子

5 自主的なプロジェクトの企画・検討及び実践【ことラボ】(随時・1年目は7月以降)

自主的にアイデアを出し合い、「この指とまれ」・「そこにいる人が全て」方式で、そこに自分たちのリソースと市内の文化資源を掛け合わせて企画立案、検討を重ね、伴走スタッフと相談しながら、実際にプロジェクトを実行していきます。



ラボ「対話型鑑賞会」の様子



ラボ「おしゃべり散歩」の様子



ラボ「モノがたり」の様子